

編集後記

この編集後記を書いている3月は新天地へ向かう研究室メンバーと共同研究者がありがたくも挨拶に訪ねて来てくれます。楽しかったことや辛かったことなど語り合いたいことは本当にたくさんあるのに、その日は終わりを迎え、「今後ともよろしく願いたします」と再会を互いに期待してその背中を見送ります。また、お会いしましょう。

本号の「物性研だより」でも研究所の著しい成果や受賞がたくさん報告されています。今回は表紙の彩豊かな結晶の写真から3次元相図まで視覚に訴えるものが多いようです。また、Belousov-Zhabotinsky (BZ)反応と Zitterbewegung (ZB)をそれぞれ扱った記事もあり、講義で習った BZ と ZB を懐かしみながらその先端研究を知ることできます。本号では大盛況だった平成29年度一般公開に関する記事も山室先生のテイストで各担当者を労いながら温かく書かれており、当時の光景が目に浮かぶようです。

平成30年度も研究だけでなく社会活動でも物性研が活躍することと思います。

松田 巖

